

FLB-86 Yaesu FT-817/818 ND / Elecraft KX3 用 内蔵バッテリーパック 使用法マニュアル



本品は八重洲 FT-817/818ND / エレクラフト KX3 用 内蔵型リチウムイオンバッテリーです。(KX3 では別途変換コネクタケーブルが必要です) バッテリーパック内蔵の保護基板は、過充電、過放電、過電流、高温からバッテリーを保護し事故発生を防止します。

製品	定格	容量mAh	電力 Wh	電力容量比較グラフ/電圧
Yaesu FNB-85		1400	13.4	9.6V
YaesuSBR-32MH		1900	18.2	9.6V
FLB-86		3200	36.5	11.4V

【重要】バッテリーには日本製日立マクセル リチウムイオン電池を使用し、保護基板を実装して安全対策を行い、約3年間にわたるFT-817/818NDへの実装運用試験を行って製品の安全性と寿命などを確認しておりますが、出来る限り低価格での提供するため製品の保証に関しては、2週間以内の初期故障のみの対応とさせていただきます。よってご購入後、廃棄までの一切をお客様の自己責任において本製品をご利用いただくこととなります。詳しくは、6502.jpにて、「Li-ion電池の安全性」をご覧ください。

FT-817/818 へ装着

1. バッテリーカバーが閉めにくい場合は、カバー裏側のゴム板を取り外し保管します。
2. 電池ホルダーもしくはニッケル水素電池が装着されていた場合はケーブルを外し取り除きます。
3. 電池ホルダーの奥に、本品付属のクッションを挿入します。
4. リチウムイオンバッテリーFLB-86のコネクタ接続をせずに、バッテリー本体を収納部に収めます。FT-817/818NDカバーのエッジで、バッテリーの絶縁被覆を傷つけないよう注意してください。
5. 極性に注意しケーブルコネクタを接続します。(配線材の色、コネクタ形状を確認してください)

KX3 へ装着 ※www.jh1lfz.comを参照してください

1. ねじ4本を外してバッテリーホルダーを取り除きます。(※) 絶縁ゴム板を敷きます。
2. 変換ケーブル(別売)黒色コネクタをKX3バッテリーコネクタに接続します。(キー有・方向注意)
3. バッテリーをゴム板上に置き変換ケーブル白色コネクタを接続します。(色合わせ・方向注意)

FT-817/818NDでの充電

付属の内蔵バッテリー充電器でも充電可能ですが、満充電するには12.8~13.8Vの外部電源が必要です。バッテリーを使い切った状態から充電完了までは16時間以上必要です。8時間の充電を2回実施し、FT-817/818NDのバッテリー電圧表示が12.4Vを超えた時点で充電を打ち切り、充電器を取り外してください。充電時の外部電源電圧は12.6Vに設定することをお勧めします。**外部電源を接続したときFT-817/818NDは設定した充電時間経過後もトリクル充電を継続します。この状態ではバッテリーは過充電になりガスが発生し膨張して寿命が短くなります。**

どうしても**外部電源を常時接続する場合は、FT-817/818NDがHiパワー送信可能な12.0V電源をお使いください。**しかし、使用後は出来るだけ外部電源を切断することをお勧めします。

※移動運用でバッテリー運用時間を伸ばしたい場合のみ、直前に13.8V電源で満充電にしてください。

KX3での充電

充電開始時のバッテリー電圧は10.6V以下であることが必須です。これ以上ですと“BAT ERROR”を表示して充電は開始されません。また、充電中に充電を中止した場合の電圧が10.6Vを超えていると充電は再開しませんので、中断することなく充電を続けてください。外部電源電圧は13.8V(満充電には14.2V必要)、充電時間は10.6Vからの場合は12時間程度、9Vからの場合は16時間程度必要です。

バッテリー保護機能について

本品は、過充電（約 13V で充電停止）、過放電（約 7.4V 100mS で出力停止）、過電流（約 7.5A 10mS で出力停止）、過熱過電流（温度ヒューズ 139℃ 5A）からバッテリーを保護し、万が一の事故発生を防止するための保護基板をバッテリーパックに内蔵しています。 但し、リチウムイオンバッテリーは過放電により充電が不能となりますので、長期間(6 か月以上)使用しない場合は、50～60%充電状態で保管し、規定電圧（約 8 V）以下にならないよう注意してください。

リチウムイオンバッテリー取り扱い上の注意

下記の事項は本品に限らずリチウムイオン電池を使用する場合、厳守する必要のある事項です。詳しくは、6502.jp にて、「Li-ion 電池の安全性」をご覧ください。

危険（この状態に遭遇したバッテリーは継続使用すると破裂・発火する可能性があります）

バッテリーを水や液体に濡らさないでください。 バッテリーを分解しないでください。

バッテリーを外部から加熱したり火の中に入れてたりしないでください。

バッテリーを落下させたり、強い衝撃を加えたりしてはなりません。

バッテリーの摂氏零度以下における充電は厳禁です。

バッテリーの過充電は、漏液の可能性と発火の危険性を高めます。

警告（身体や使用機器に害を与える恐れがあります）

バッテリーの外装が傷ついた場合、FT-817/818ND の内部回路基板に損傷を与える恐れがあります。

異臭を感じたり、変色、発熱、変形したり、いつもと異なる状態を認めた場合は、直ちに使用を中止し、装置から取り外してください。発熱・発火の恐れがあります。

注意（事故につながり身体に障害を与える可能性や、バッテリー損傷の可能性あります）

直射日光下や陽の当たる場所に置かれた車中など、高温にさらさないでください。購入時と異なる腐食、異臭、発熱を認めたバッテリーには使用しないでください。

万が一バッテリーからの漏液が皮膚や衣服に触れた場合は、直ちに水道水で洗い落とし、専門医の判断を仰いでください。

バッテリーは、満充電にしないほうが長寿命です。長期保管時は 60%充電がお勧めです。(11.4V 推奨)

長時間バッテリーを使用しない場合は、FT-817/818ND、KX3 より取り出し保管してください。

バッテリーは使用しない場合も 6 か月ごとに電圧を確認し 10V 以下の場合は補充してください。

バッテリーには寿命があります。使用可能時間が極端に短くなった場合は使用を中止してください。

<重要>バッテリー充電時・外部電源運用時

FT-817/818ND に外部電源装置を接続する場合は、電源装置の出力電圧を 12.8V より上げないようにしてください。13.8V でも充電可能ですが、FT-817 は充電終了後も小電流充電しますので、過充電によりバッテリー寿命を縮めます。その為の対策です。充電や運用時以外では電源を切断することをお勧めします。

警告 規定の方法で規定時間充電しても充電できない場合は、さらなる充電は禁止です。破裂や発火の危険があります。充電は +10℃～+45℃の環境下で行ってください。これ以外では、正常に充電が行われずバッテリーが発熱、損傷する危険があります。特に 0℃以下での充電は厳禁です。

危険 本品は、Yaesu FT-817/818ND・Elecraft KX3 用です。他の用途では使用しないでください。

注意 バッテリーは下記の温度範囲以外では使用しないでください。

使用時 -20℃ ～ +60℃ **保存時**(1 か月を超える) -20℃ ～ +35℃ (50～60%充電状態)

最新情報は <https://6502.jp> をご覧ください。 製品情報の公開 <https://www.jh1lfz.com>